

北九州工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	長期学外実習	
科目基礎情報							
科目番号		0136		科目区分		専門 / 選択	
授業形態				単位の種別と単位数		履修単位: 3	
開設学科		生産デザイン工学科 (知能ロボットシステムコース)		対象学年		4	
開設期		集中		週時間数			
教科書/教材							
担当教員		コース 長					
到達目標							
継続して担当業務に積極的に対処できる。 ・ 毎回、取り組んだ内容を的確にまとめ、報告することができる。 ・ 取り組んだ内容を把握し、レポートとしてまとめることができる。 ・ 職場のルールを守ることができる。 ・ 職場の中でコミュニケーションが図れる。 ・ 企業等の活動を理解し、職業への意識を高めることができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
継続して担当業務に積極的に対処できる。		継続して担当業務に積極的に対処できる。		継続して担当業務に対処できる。		継続して担当業務に対処できない。	
実習計画に基づいて取り組んだ内容を把握し、レポートとしてまとめることができる。		実習計画および自ら見いだした課題にも取り組み、建設的な意見を取込んだレポートとしてまとめることができる		実習計画に基づいて取り組んだ内容を把握し、レポートとしてまとめることができる。		実習計画に基づいて取り組んだ内容の把握が不十分で、レポートとしてまとめることができない。	
企業等の活動を理解し、職業への意識を高めることができる		企業等の活動を理解し、職業への意識を高め、自分の将来の選択に積極的に活かす事ができる。		企業等の活動を理解し、職業への意識を高めることができる。		企業等の活動を理解が不十分で、職業への意識を高めることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 D① 専門工学の基礎に関する知識と基礎技術を統合し、活用できる。 学習・教育到達度目標 D② 工学知識や技術を用いて、課題解決のための調査や実験を計画し、遂行できる。 学習・教育到達度目標 D③ 工学知識や技術を用いて、課題解決のための結果の整理・分析・考察・報告ができる。 学習・教育到達度目標 E① 歴史・文化・国語・外国語を学び、コミュニケーションするための基礎的な教養を身に付ける。 学習・教育到達度目標 F② 工業技術と社会・環境との関わりを考えることができる。 学習・教育到達度目標 F③ 技術者としての役割と責任を認識できる。 学習・教育到達度目標 G② 社会人として、技術者として必要な素養、一般常識や礼儀、マナーについて考えることができる。							
教育方法等							
概要		学校から社会・職業への円滑な移行に共通して必要な能力を育むため、後学期授業期間中の毎週、企業・公的機関等で、終日実習・実務を行うことにより、社会人として必要な知識や人間性を養い、職業に従事するための知識・態度等を育む。また、実習を通じて、就職（職業）への意識を高め、勉学の意味と目標を再認識し将来の進路選択に役立てる。					
授業の進め方・方法		後学期授業期間中の毎週 1 日、特定曜日に企業・公的機関等に通い、終日実習・実務を行う。 実習・実務内容は受け入れ先企業の計画したカリキュラムによって行われる					
注意点		毎回実習終了後、実習ノートを作成し報告すること。 実習に当たっては、受け入れ先の規律・規則・指導に従い、積極的に実習に取り組むこと。遅刻・無断欠席など、社会人として通用しない態度は厳禁であり、責任ある行動を心掛けること。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週	ガイダンス		長期学外実習の意義について理解する。 研修時の注意事項を理解する。 報告書のまとめ方を理解する。		
		2週	受入先企業での実習				
		3週	受入先企業での実習				
		4週	受入先企業での実習				

		5週	受入先企業での実習	
		6週	受入先企業での実習	
		7週	受入先企業での実習	
		8週	受入先企業での実習	
	4thQ	9週	受入先企業での実習	
		10週	受入先企業での実習	
		11週	受入先企業での実習	
		12週	受入先企業での実習	
		13週	受入先企業での実習	
		14週	受入先企業での実習	
		15週	実習報告会	成果報告書の作成 実習成果の報告
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	実習報告書	その他	合計
総合評価割合	30	30	0	0	40	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	30	30	0	0	40	0	100